

〔第125回銀行業務検定試験〕

「営業店管理Ⅰ」「証券3級」団体最優秀賞・  
「法務2級」「法務3級」「税務3級」団体優秀賞受賞

## 百五銀行

～高いモラルと豊かな発想で行動する自立した企業人～

今回は、去る平成25年10月27日に実施された第126回銀行業務検定試験「営業店管理Ⅰ」「証券3級」において団体最優秀賞、「法務2級」「法務3級」「税務3級」において団体優秀賞を受賞されました百五銀行へお伺いしました。

百五銀行は、明治11年11月に創立され、資本金200億円、従業員数2,467名、預金残高4兆775億円、貸出残高2兆5,354億円で、店舗数106か店、27出張所、3駐在事務所を展開する金融機関です(平成25年3月31日現在)。

また、「信用を大切に社会をささえます」「公明正大で責任ある経営をします」「良識ある社会人として誠実に行動します」という企業理念を掲げられています。

今回快く取材に応じてくださいましたのは、人事部人材開発課長の北澤浩二さんと課長代理の黒宮直人さんです。

### ●団体賞受賞について

百五銀行は、平成25年10月27日に実施された銀行業務検定試験「営業店管理Ⅰ」「証券3級」において団体最優秀賞、「法務2級」「法務3級」「税務3級」において団体優秀賞を受賞されました。

まず、上記受賞についてのご感想をお伺いしましたところ、北澤さんは、「受賞については、たいへん光栄に思っています。人材開発課としては特別な対応をしたわけではありませんが、この成績結果については、行員1人ひとりがよくがんばってくれたものと受け止めています」とおっしゃっていました。



▲百五銀行 本店



▲人材開発課課長 北澤浩二さん(左)、  
人材開発課課長代理 黒宮直人さん  
(右)

### ●銀行業務検定試験の活用状況

百五銀行における銀行業務検定試験のご活用状況をお伺いしましたところ、入行1～3年目向けに「フロンティア・ルーキー・プログラム」が用意されており、その中に法務2・3級、財務2・3級、税務2・3級が推奨という形で組み込まれているとのこと。この「フロンティア・ルーキー・プログラム」の目的は新入行員の基礎力習得と早期育成にあり、そのために必要な研修・自己啓発・営業店でのOJTが体系化されていて、「人を育てる風土」の醸成にもつながっているとのこと。

そのほか、銀行業務検定試験は一般行員、役職者向けにも自己啓発として組み込まれているとのこと、団体最優秀賞を受賞された「営業店管理Ⅰ」「証券3級」については、自発的な受験によるものとのことでした。

### ●人材育成の基本方針と求める人材像

百五銀行の人材育成の基本方針について、黒宮さんは、「何よりも、STUDY(主体的に学び)、THINK(主体的に考え)、ADVANCE(主体的に行動する)ということを入材育成のコンセプトにしています」とお話しくださいました。この基

本方針については、研修所の入口にブロンズの盾として掲げられ、研修所を訪れた行員の目には必ず触れるようになっています。

「何事にも主体的に」という風土ゆえ、団体受験における高合格率の維持につながっているような気がしました。

百五銀行が求める人材は、「高いモラルと豊かな発想で行動する自立した企業人」とのこと。そして、地元を元気にすることが大切な役割であり、具体的な一例としては、地元取引先企業の海外進出支援時に必要な提案力等、実務能力をより強化・底上げしていきたいとのこと。

最後にこれから行っていきたい研修についてお聞きしたところ、北澤さんは「女性の活躍を応援していきたいですね。また、できるだけ実践的な研修も充実させたいですね」と笑顔でお答えいただきました。



▲基本方針が書かれたブロンズの盾

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応くださいました北澤さん、黒宮さんに心から感謝申し上げます)